

# 2026年度 専門高校(学科)・総合学科生徒 対象選抜入学試験

2026年度専門高校(学科)・総合学科生徒対象選抜入学試験については、学部により試験日に筆記試験を実施、または事前に課題提出を課しました。各学部の選考方法は以下のとおりです。

学部	選考方法
経済学部	筆記試験(小論文)
文学部哲学科	筆記試験(小論文)
文学部史学科	筆記試験(小論文)
文学部社会学科	筆記試験(小論文)
文学部文学科 日本語日本文学専攻コース	筆記試験(小論文)
文学部文学科 英語英米文学専攻コース	筆記試験(小論文)
データサイエンス学部	課題提出(小論文)
地球環境科学部	課題提出(小論文)
社会福祉学部	課題提出(小論文)

出題内容は、次ページよりご確認ください。

## 2026年度 専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜入学試験問題

（試験時間60分）

## 経済学部

次の文章を読み、教育における効率性と公平性のトレード・オフに関する論点を整理するとともに、あなたが政府による教育に対する支援や介入のあり方についてどのように考えているか、あわせて800字以内で述べなさい。

さて、経済学で教育をとらえる場合、最も基本となるのは、ノーベル経済学賞も受賞したG・S・ベッカーを出発点として確立されてきた「人的資本論」である（ベッカー〔1976〕）。そこでは、教育は個人の生産性を引き上げ、将来の賃金を高める社会的な装置としてとらえられる。つまり、工場や機械装置がモノを生産するための資本であるのと同様に、人間も労働力を提供する一種の資本、すなわち人的資本としてとらえるわけである。そして、教育を受けることはその人的資本を高めるための投資だとみなされる。

ただし、ここで注意する必要があるのは、教育を受けるメリットは自分にとどまるのではなく、社会全体に及ぶという点である。自分が身に付けた専門知識は社会の経済活動に貢献し、世の中の経済的な便益を高める。これが、教育の外部効果とよばれるものである。ところが、人々はこの外部効果まで意識しないで教育をどこまで受けるかを判断する。そのために、世の中の教育の需要水準、そしてそれによって決まる教育の供給水準は、社会全体にとって最適な水準を必ず下回ることになる。だからこそ政府は、人々から得た税金で教育の提供に財政的な支援を与える必要が出てくる。どんな国でも、政府がなんらかの形で教育に関与してくるのはそのためである。

以上は、教育の経済効果に対するオーソドックスな、そして効率性の観点のみからの説明である。ここに公平性の観点を加えると、議論が少しややこしくなる。教育がどこまで成果をあげるかは、子供によって異なってくる。同じだけの教育を受けても、もともと能力の高い子供は、そうでない子供よりも多くの成果をあげられるかもしれない。そうすると、国民の税金を使って政府が教育サービスを提供すると、子供たちの能力は平均的に高まるかもしれないが、能力の個人差をむしろ広げてしまい、将来の所得格差の拡大につながる危険性もある。そこでは、教育はむしろ所得格差の拡大装置として機能することになる。

さらに厄介なことが2つある。ひとつは、教育が格差を拡大するといっても、子供たちがまったく同じスタートラインに立っているのなら、まだ少しは救いがある。しかし、スタートラインに立った時点ですでに差があり、さらにその差が教育によって拡大こそすれ縮小しないとすれば、事態は深刻になる。教育需要には階層性が伴う。学歴が高く、所得の高い親に育てられた子供ほどよい教育を受けるということであれば、教育は所得格差を次の世代に継承する装置にすらなってしまう。実際、こうした点は教育社会学の分野で昔から重要な研究テーマとなってきた。

もうひとつは、能力差は教育を受け始めた段階でははっきりとわからないが、教育を受けるにしたがって明確になっていくという点である。学校で受ける数々のテストや先生とのコミュニケーションを通じて、子供の能力は次第に明らかになっていく。能力が高いことがわかった子供はさらに教育を受け、そうでない子供は教育から離れる。教育は能力のあることがわかった子供たちだけが受け続けることになる。小学校、中学校、高校、大学という形で教育が段階的に構成され、それぞれの区切りで進学か卒業かを判断させるという仕組みが存在するのは、教育のそうした能力識別機能を反映している。そして、その教育の能力識別機能こそが格差拡大をもたらす。

このように考えてみると、教育は効率性と公平性がまさしく絡み合う場であることがわかる。そして、教育のあり方はこの2つの観点をどのようにウェイトづけるかでかなり違ってくる。例えば、日本においても、国立大学が入試によって学力の高い生徒だけに入学を許し、国民の税金を使って彼らの教育を経済的に支援することは、所得再分配という公平性の観点から見てもはたしてどこまで許されるのだろうか。こうしたエリート教育の是非については、2つの考え方がある。

ひとつの考え方は、効率性を重視する考え方である。教育を国民の税金で賄うのであれば、最も効率の上がる使い方が望ましいのだから、能力の高い生徒を入試で選別して彼らを集中的に教育すればよい。そうして、彼らが学校を卒業すれば、ほかの人たちより高い所得を得るはずなので、彼らに高い税金をかけ、社会全体にその教育の成果を還元してもらうようにする。

もうひとつは、それとは反対に公平性を重視する考えである。能力の低い者は、そのまま社会に出ると低い所得にとどまってしまう。だから、所得格差の是正を重視するのであれば、国民の税金で力を入れるのは能力の高い者ではなく、むしろ能力の低い者だという主張が出てくる。この場合、教育は所得再分配装置としての色彩を強める。もちろん、実際の教育制度においては、能力の低い者だけを積極的に選別するということはまずない。非エリート教育は、実際の教育制度のあり方としては、入試の段階で学力による選別を行わず、全員入学させるという仕組みになっているのが普通である。そして、政府の供給する教育サービスに物足りない者は、自分のお金でより高い教育を受ければよい、ということになる。

エリート教育の考え方においては、教育は生産性向上効果を最大限に追求すればよく、所得再分配は税の仕事だという割り切りがある。これに対して非エリート教育では、教育そのものによって所得再分配を行おうとしている。どちらが望ましいか、一概にはいえない。日本の教育システムを見ても、とりわけ大学教育段階では私立大学が重要な役割を果たしているほか、高校段階では私立校が学力の相対的に低い生徒を引き受けている例も多く、明確な特徴づけは難しい。しかし、どのような形をとるにせよ、教育のあり方は税など所得再分配と密接に関わってくる。

出典：小塩 隆士（2012）『効率と公平を問う』、日本評論社、pp.116-119

※ 出題にあたって、見出しを一部省略した。

2026年度 専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜入学試験問題

（試験時間60分）

文学部

◎哲学科

- ① これまでに読んだことのある「哲学」に関する本を一冊挙げ、その内容を紹介し、そこで論じられているテーマについて自分の見解を述べなさい。
- ② ①で述べたことを踏まえて、入学後どのような研究を行いたいのか、明確に論じなさい。
- （①②あわせて600字以上800字以内）

◎史学科

あなたは「歴史学」を学ぶ意義についてどのように考えるか。あなたが入学後に史学科で取り組んでみたいと思う具体的なテーマと関連付けて、600字以上800字以内で述べなさい。

◎社会学科

次の論題の中から1つを選び、それについて説明したうえで、あなたの考えを800字以内で文章化しなさい。なお、解答に関しては、選択した番号を解答用紙の冒頭に明記すること。

- ①未婚化と晩婚化
- ②SDGs
- ③同一労働同一賃金

◎文学科 英語英米文学専攻コース

専門高校（学科）・総合学科で学んだいかなる経験から文学科英語英米文学専攻コースへの編入・転入を希望するのか。本コースではいかなる分野の勉強に取り組み、いかなる力を身につけ、それを卒業後いかに生かしたいか。以上の点について具体的に800字以内で述べなさい。

◎文学科 日本語日本文学専攻コース

あなたこれまでの学びと入学後に日本語日本文学専攻コースで学びたいことにはどのような関連があるか、800字以内で述べなさい。

## 課題（小論文）

2026 年度 専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜入学試験 課題（小論文）

### データサイエンス学部

〈出題内容〉

あなたが専門高校（学科）あるいは総合学科において専門的に学んだ分野の発展に、データサイエンスの知識や技術はどのように利活用することができるだろうか。あなたの考えを述べなさい。（800 字程度）。

## 課題（小論文）

2026 年度 専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜入学試験 課題（小論文）

### 地球環境科学部

〈出題内容〉

#### 【環境システム学科】

あなたが身近に感じる自然環境の問題について1つ取り上げ、その概要をまとめるとともに、問題解決に向けてどのような対策を講じるべきか、あなたの考えを述べなさい（800字以内）。

#### 【地理学科】

あなたが学んでいる専門高校（学科）・総合学科における学習内容は、地理学科での学びにあたってどのように生かせるか、具体的に説明しなさい（800字以内）。

## 課題（小論文）

### 2026 年度 専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜入学試験 課題（小論文）

#### 社会福祉学部

〈出題内容〉

##### 【社会福祉学科】

本学科は、多様性を尊重するとともに、社会福祉・特別支援教育のあり方について考え続けることを重視しています。そのことを踏まえ、あなたの専門高校（学科）あるいは総合学科における学習内容は、社会福祉学科の学びにおいてどのように活かせるか、具体的に説明しなさい（800字以内）。

##### 【子ども教育福祉学科】

本学科は、人間の尊厳・人権を尊重するとともに、人間および子どもの教育・福祉・心理をめぐる諸問題について多角的・柔軟に考え続けることを重視しています。そのことを踏まえ、あなたの専門高校（学科）あるいは総合学科における学習内容は、子ども教育福祉学科での学びにおいてどのように活かせるか、具体的に説明しなさい（800字以内）。